



今月は、4月より就任いたしました病院長と病院顧問からご挨拶させていただきます。

病院長就任のご挨拶



病院長 尾下 正秀

令和3年4月1日に柴田邦隆先生の後任として病院長に就任いたしました 尾下 正秀（おした まさひで）です。よろしくお願いいたします。

私は、大阪大学を卒業後、これまで大阪大学医学部附属病院、国立大阪南病院（現・大阪南医療センター）、大阪警察病院で勤務してまいりました。前任地である大阪警察病院で、医師生活の3分の2である24年間、主に消化器内科医として過ごしてきました。

皆様におかれましては、昨年来、持続する終息の見えない新型コロナウイルス感染の広がりによって、暮らしは大きく変容し、緊急事態宣言など緊張感の高い生活をしいられる中、医療現場には多くの温かいお言葉をいただいていることに深謝いたします。

当院においても、新型コロナウイルスに翻弄され、病棟の一部閉鎖・救急受け入れの制限などの対応を取らねばならないこと、ご迷惑とご心配をおかけしております。

当院は、「創意に富み思いやりのある信頼される病院をめざして」という基本理念のもと、『安全で安心な地域社会の実現にむけて、公立病院としての役割と責務を果たすとともに、創意と思いやりのある医療を実践し、地域住民および地域医療機関に信頼される病院であり続けることを目指しています。』とし、7つの基本方針（①地域社会に応える計画的な病院事業の推進。②誠実で思いやりのある患者さまの立場にたった医療の実践。③地域の医療水準の向上をめざし、広域的な医療連携・保健連携の推進。④地域の急性期病院として、安全で質の高い医療の提供。⑤全ての職種が互いに信頼し協働した、チーム医療および組織横断的活動の推進。⑥働きがいのある病院づくりに努め、地域医療を支える優れた医療人の育成。⑦意識変革をもって病院事業を遂行し、安定した経営基盤の確立。）に従って行動しています。

池田の医療を支える地域医療支援病院として、より一層、皆様方から愛される北摂地域のリーディングホスピタルを目指して、微力ではありますが、頑張りますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



当院は地域医療の拠点病院として、今後も地域医療に貢献していく所存です。何卒宜しく願います。

病院顧問就任のご挨拶



ゆかわ まさお
病院顧問 湯川 真生

【略歴】

- 1984 大阪大学医学部卒業
- 1986 大阪府立成人病センターレジデント
- 1989 大阪大学医学部第二外科医員
- 1993 ハーバード大学医学部研究員（ベスイスラエル病院）
- 1996 茨木医誠会病院外科医長
- 1999 市立吹田市民病院外科医長
- 2000 近畿大学奈良病院外科講師
- 2015 同臨床教授・がんセンター長・副病院長（2018～）
- 2021 現職

【資格・認定・所属学会等】

- 日本外科学会 専門医・指導医
- 日本乳癌学会 評議員・指導医（専門医）
- 日本消化器外科学会 専門医・指導医
- 近畿外科学会 評議員

2021年4月1日、北田昌之病院顧問の後任として赴任いたしました。

乳がんに対する医療は、近年めざましい進歩をとげ、遺伝子診断を含むゲノム医療や、術前や術後の抗がん剤治療、抗体医薬品による免疫治療などが組み込まれた高度に専門的な内容になりつつあります。

当院乳腺・内分泌外科は、乳腺専門医3名による診療体制で、消化器外科、呼吸器外科、大阪大学外科専門医プログラム専攻医などの外科スタッフと協力して集学的治療を進めていきたいと考えています。

一方で、患者様一人一人の立場や事情の違いに十分に鑑みた、最良の治療を見つけていくことが大切であると考えており、他科や多職種の方々の協力を得ながら、患者様に寄り添う医療をめざしています。

乳がん切除後の乳房再建では、形成外科と協力して1次再建（同時に再建）や2次再建（後に再建）を行っています。乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施施設に認定されており、人工物および自家組織による乳房再建が可能です。患者様の状態に応じて、最適な再建方法が選択できるように取り組んでいます。



主任部長 安座間 隆

- 【資格・認定・所属学会等】
- 日本外科学会【専門医】
- 日本乳癌学会【専門医】
- 【マンモグラフィ読影認定医】
- 日本がん治療認定医機構【がん治療認定医】
- 日本静脈経腸栄養学会【認定医】
- 緩和ケア研修会 修了

主任医員 阿部 瑞穂

- 【資格・認定・所属学会等】
- 日本外科学会【専門医】
- 日本乳癌学会【認定医】
- 【マンモグラフィ読影認定医】
- 緩和ケア研修会 修了